

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名		とくしま海岸漂着物等地域対策推進事業(掃海事業)		担当部署	経済建設部 水産振興室			
総合計画体系				根拠法令 計画など	徳島県補助金交付規則 徳島県水産関係事業費補助金交付 要綱			
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			事業 期間	開始	昭和	55年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと						
(小項目)		農林水産業						
施策	6	水産業の振興		終期			未定	
基本事業	1	漁業生産基盤の整備						

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	海底に沈降している堆積物を除去し、漁場環境の保全及び漁業経営の安定向上を図る。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲量の減少対策として、漁場環境の保全を図るため、小型底曳網漁船を使用して堆積物を除去し、廃棄物処理業者に引き渡し処理を行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆積物除去量</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>m³</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	堆積物除去量	53	53	24	24	24	m ³
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
堆積物除去量	53	53	24	24	24	m ³										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	小型底曳網漁船を使用して堆積物を除去し、廃棄物処理業者に引き渡し処理を行った。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 掃海面積	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	ha
	2 漁船隻数	52	47	52	52	52	隻
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	堆積物除去量	5	14	—	—	—	m ³
	目標達成率(実績/目標)		26.4	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	2,550	0	0	450	3,000
		補正予算額	0	△ 1,067	0	0	△ 187	△ 1,254
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	1,483	0	0	263	1,746
		決算額	0	1,482	0	0	264	1,746
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.1	0.0	723	2,469			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:とくしま海岸漂着物等地域対策推進事業(掃海事業)】

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	1,683	1,746	3,000	3,000	3,000
	うち一般財源	170	264	450	450	450
	人件費	713	723	723	723	723
	総事業費	2,396	2,469	3,723	3,723	3,723

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		漁業経営の安定を図る上で、生産基盤となる漁場環境の保全は重要である。
	効率性	A:効率的だった		海底の清掃作業に対応できるのは、実施主体だけである。
②成果に対する評価	指標名	堆積物除去量		堆積物除去量は少なかったが、掃海事業を実施することにより、漁場の保全が図られた。
	目標	53	m ³	
	実績	14	m ³	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		成果目標は、達成することができなかったが、活動に関しては、有効的・効率的であったためB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	海底堆積物は、その年の台風・大雨などの気象状況に左右される場合が多く、除去量について目標数値がたてにくい。しかし、海面環境を保全し、漁業経営の安定化を図るため、今後も実施していく必要がある。また、底曳き網漁業者の減少も予測される中、今後も掃海事業を継続していくため、後継者の育成・確保に取り組まなければならない。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として漁場の環境保全に努めるため、堆積物除去作業を実施する。			
	H31年度	平成30年度に同じ。			